

## 令和3年度 第3回 滋賀県地域医療対策協議会 議事概要

日 時：令和4年3月22日（火）18：00～20：00

場 所：滋賀県危機管理センター2階 災害対策室 本部室（2F）

出席委員：金子隆昭会長、田中俊宏委員、楠井隆委員、古家大祐委員、  
小椋英司委員、越智眞一委員、上本伸二委員、宮本享委員、  
夜久均委員、永田かおり委員、石田展弥委員、塚田多佳子委員、  
鹿田由香委員、梅田朋子委員、有田泉委員、木築野百合委員、  
中村由紀子委員、角野文彦委員  
（18名）

欠席委員：辻川知之委員、宮本和宏委員、堀江和博委員（3名）

事務局：健康医療福祉部 市川部長、大岡次長、切手医療政策課長等

### <議事の経過概要>

**開会宣告** 18時00分

**健康医療福祉部長 挨拶**

**定足数確認**

事務局より、本日の出席者は定足数、過半数を超えており、滋賀県地域医療対策協議会規則第3条第3項の規定により、会議が有効に成立している旨の報告があった。

また、金子会長から、議題5および議題6については、滋賀県地域医療対策協議会会議公開要領第2条第2項の規定により、非公開で審議することの言及があった。

**議 題**

**（1）議題1 臨床研修病院ごとの研修医の定員（令和5年度研修開始分）についておよび議題2 基幹型臨床研修病院である大学病院の基礎研究医プログラムの定員（令和5年度研修開始分）について**

事務局より資料に基づいて説明があり、それに対する質疑はなかった。

その後、臨床研修病院ごとの研修医の定員および基幹型臨床研修病院である大学病院の基礎研究医プログラムの定員について決を採り、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

**（2）議題3 令和4年度医師確保対策事業について（報告）**

事務局より資料に基づいて説明があり、それに対して質疑応答が行われた。

なお、質疑応答の概要については、以下のとおり。

委員	今説明のあった医師確保対策事業に関しては、新たに設置されたものもあるが、ホームページあるいは、各病院に申請を始めた等の報告はあるのか。
事務局	改めて周知させていただく。
委員	以前の事業を引き継がれているところは前回の収支を参考にしてしているのか。
事務局	補助金等については、昨年度の実績と令和3年度の申請状況等を加味しながら、令和4年度の予算に反映しているところ。

### (3) 議題4 キャリア形成プログラム卒前支援プランについて (報告)

事務局より資料に基づいて説明があり、それに対して質疑応答が行われた。

なお、質疑応答の概要については、以下のとおり。

委員	<p>滋賀医科大学では地域枠地元枠の学生は年間11名であり、2年前から地域医療重点コースを実施している。おそらくそれがベースとなってくるが、来年度(令和4年度)からは地域枠地元枠の学生が3学年となる。既に学生交流会、教育研究拠点での臨床実習の見学、年3回の面談等を実施している。その1年後(令和5年度)からは地域枠地元枠の学生は4年生となるが、臨床実習で地域拠点での長期の実習が必要だと考えている。</p> <p>そういうものも含めてプログラムを作っていたらと思っている。</p>
委員	<p>当県では滋賀医大が対象となる卒前支援プランであろうということになるが、長崎県では通常の間枠を超えて、ワークショップや研修会、離島の病院見学、面談を行っている。先ほどの話にあった令和5年度の4年生、いわゆる地域枠の実習についても時間外での研修に含まれるのか。</p>
委員	<p>現在は時間外でやっている。交流や見学は、夏休み等で実施している。まだ構想段階であるが、地域枠で入学された方に対しては、特別な臨床実習のプログラム、少し長期間になるが、地域の教育医療機関での実習を構想しているというところ。</p>
事務局	<p>補足をさせていただく。地域枠入学の学生については滋賀医大のカリキュラム内で重点的に当然地域医療についての教育をしていただくが、その他のキャリア形成プログラムの対象になる方は希望された医師の方や自治医大を卒業された方等が適用対象になってくるので、時間外にも懇談会等を実施していただく。大学の地域枠でないと受けられない教育もあり、その他にもいろいろ時間外のメニューを要する人もいます。もれなく皆さんが地域医療の研修等を受けていただけるようにする必要があります。</p>

委員	<p>卒前支援プランはすばらしいが、さらに必要と考えるのが入学前のインフォメーションを高校にあたえるということ。地域卒の受験生というのは推薦卒であるが、その内申書を見ても、高校の教師が地域卒がどういうものかを理解されていない可能性がある。そうすると学生が地域卒として入り、もちろんイメージとしては、京都府で言えば北部の田舎に行くイメージは持っているが、どういう医療をしていくのか高校時代からある程度教師、都道府県から学生に説明会を開いて一般の入試とは違うんだという意識づけがすごく重要だと思う。そうしないと生半可な知識で入ってこられて結局、これもやりたいあれもやりたいということになり、地域卒から離脱ということが起こる。なかなか意識が地域に向かない学生も見受けられる。やはり高校時代からモチベーションの教育を大学と都道府県が推薦をする高校に働きかけることが必要。滋賀県でも同じ事だと思うので、さらにそういう取組をされると意識づけができるのではないかと感じる。</p>
事務局	<p>滋賀県においては、地域卒の高校向けの説明会等ができていない状況。卒前プログラムも始まるので、滋賀県としても高校向け、高校の先生方向けの説明会を検討してまいりたい。</p>
委員	<p>今の話に関連して、高校の先生向けの説明会も必要だと思うが、高校生本人あるいは保護者に向けての説明会を県として、せめて1回できれば2回開催された方が、本人および保護者が納得していることが大事かなと思うので、そういう場面を作っていたらどうかと思う。</p>
事務局	<p>御意見を参考にさせていただき、前向きに検討させていただく。</p>

**以下の議題5および議題6は、非公開で審議**

**(4) 議題5 奨学金等貸与医師の知事が指定する勤務先医療機関について**

事務局より資料に基づいて説明があり、それに対して質疑応答が行われた。

その後、奨学金等貸与医師の知事が指定する勤務先医療機関について決を採り、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決した。

**(5) 議題6 奨学金等貸与医師の業務従事義務からの離脱について（報告）**

事務局より資料に基づいて説明があり、それに対して質疑応答が行われた。

**閉会宣告** 19時30分